

Former British Consulate General in Yokohama

旧横浜英国総領事館

新展示室

OPEN!

2026.4.1 WED



100年の記憶、50年の軌跡 そして、開港の未来へ



横浜開港資料館
YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY

「旧横浜英国総領事館」新展示室OPEN



イギリス総領事館と新展示室について

このたび令和3年度から5年かけて実施してきた、横浜開港資料館旧館(旧横浜英国総領事館)の整備工事が終了し、令和8年4月1日に新展示室を公開します。

明治2年(1869)にイギリス領事館が建設されてから、昭和47年(1972)に領事館が廃止されるまで、この地は100年以上にわたって、イギリスと深い関係を有してきました。

現在の建物は、関東大震災で倒壊した領事館に代わって、イギリス工務省の設計により、昭和6年(1931)に鉄筋コンクリート造で再建されたものです。建築様式は、18世紀から19世紀半ばにかけて本国で流行したジョージアン様式でまとめられ、建物以外にも、周囲の門柱や門扉および塀に当時の意匠が残されています。

今回の整備工事では、建物に残された古い痕跡を調査する過程で、創建当時の建具(扉や窓枠)や内装の色が判明し、外観・内装ともにかつての色に復原しました。

総領事の執務室だった1階記念室では、横浜のイギリス領事館の歴史について、そして幕末の外交官アーネスト・サトウについて紹介しています。また領事館職員とその家族の生活空間であった2階では、山下町や横浜中華街、元町、山手など、横浜の観光地として親しまれている旧外国人居留地を中心としたエリアの歴史を紹介しています。

文化観光拠点計画による施設整備について

「横浜開港資料館における文化観光拠点計画」は、文化の振興を、観光の振興と地域の活性化につなげ、これによる経済効果が文化の振興に再投資される好循環を創出することを目的として文化庁によって認定された計画です。

横浜開港資料館は、「横浜開港」の歴史を中心に文化振興を観光と地域活性化に結び付ける拠点となることを目指し、計画に基づいてデジタルアーカイブでの館蔵資料公開、旧横浜英国総領事館の整備・バリアフリー化工事、ミュージアムショップ&カフェPORTER'S LODGEの開店などの各種取組を令和3年度より進めてきました。



昭和47年(1972)頃のイギリス総領事館
(デヴィット・コッカハム氏提供)

横浜開港資料館 YOKOHAMA ARCHIVES OF HISTORY

旧横浜英国総領事館

〒231-0021 横浜市中区日本大通3

TEL: 045-201-2100

<https://kaikou.yokohama-history.org>

管理運営団体 公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団



アクセス

みなとみらい線日本大通り駅④番出口から徒歩2分

JR関内駅南口、市営地下鉄関内駅下車徒歩15分

または、JR桜木町駅から市営バス「日本大通り駅県庁前」下車、徒歩1分

案内図



横浜市指定文化財(建造物)

- ・横浜開港資料館旧館(旧横浜英国総領事館)及び旧門番所
 - ・附 設計図36枚、改修図面51枚
 - ・時代 昭和6年(1931)
 - ・構造及び形式
- 旧館 鉄筋コンクリート造3階、地下1階、寄棟造
銅板瓦葺、外壁人造石洗出し目地仕上げ
旧門番所 鉄筋コンクリート造1階建、寄棟造
銅板瓦葺、外壁人造石洗出し目地仕上げ
- ・所在地 横浜市中区日本大通3番地
 - ・指定年月日 平成12年11月6日